



特集

栃木米の魅力をお届けします! ～今年も美味しい新米ができました～ 食や農業で地域のサポートに取り組めます!

CONTENTS

トピックス

鹿児島全共に向けて 調教講習会を開催!

豊水梨目揃え会を開催しました

にっこり梨目揃え会を開催しました

JAうつのみやとの
農機事業一体運営が始まりました

地域インフラの拠点に
JAエルサポート県東支店・石油配送センターが竣工!

新総合物流センター起工式を行いました

- 自己改革の実践 第48弾
中古農機に関する取り組み
【コスト削減への挑戦】
- お知らせ
下野新聞で連載ははじめました!
- 簡単レシピ
『ぶりと秋野菜の黒こしょう炒め』
- 子牛市場情報
- JAタウンからのお知らせ
- 行事予定
- 編集後記

栃木米の魅力をお届けします！

「栃木米アンバサダーお披露目会」

栃木を代表するお笑い漫才コンビ「U字工事」を任命しました！

本会米麦部は9月20日、都内の帝国ホテルにて「栃木米アンバサダーお披露目会」を開催し、栃木を代表するお笑い漫才コンビ「U字工事」を栃木米アンバサダーとして任命することを発表しました。

今回のお披露目会は、栃木米消費拡大キャンペーンの展開にあたり、新キャラクターの就任及び新しいテレビCMの発表を目的としてメディア向けに開催され、多くのメディア関係者が集いました。

冒頭、本会運営委員会の菊地会長は「本日、新たな栃木米アンバサダーを起用したことを機に、更なる消費宣伝活動に取り組み、栃木らしさを前面に出したPRを行っていききたい」と挨拶し、池田県本部長からは「自然環境に恵まれた栃木県では、その土地にあった品種、栽培方法で美味しいお米を生産することができる。今後も、美味しい栃木のお米を全国の皆様にお届けしていく」などと栃木米の概要説明がありました。

会長、県本部長より委嘱状が手渡されたU字工事のお二人はそれぞれ、「プレッシャーも大きいけど、本当においしいので自信をもってPRができる」「自分たちも栃木米を食べて育ってきた。西日本も含めて全国へ魅力をガンガン広めていきたい」意気込みを話しました。

当日はゲストとして、結婚15周年を迎え、おうちご飯やYouTubeでも注目を集め、第一線でご活躍中の辻希美さん・杉浦太陽さんご夫婦に登場していただきました。

U字工事の福田さん・益子さんとはそれぞれ、「県産コシヒカリ」「なすひかり」とちぎの星」を試食し、「ツヤがあって粘り強い」「粒が大きい」「クリアな甘みがある」とおいしそうに頬張りながらコメントしました。

辻さんにはサプライズとして、「とちぎの星」をふんだんに使ったイチゴ(15)の形の「お寿司ケーキ」を贈呈。試食をした辻さんは「お米のうまみが酢に負けてない！」と驚いた様子を見せました。



～今年も美味しい新米ができました～



毎年恒例の新米キャンペーン！

「栃木の新米美味すぎて米んねキャンペーン」を実施中！

本会は毎年、新米時期に合わせてキャンペーンを実施しています。今年はU字工事をアンバサダーに起用したことを受けて「栃木の新米美味すぎて米んねキャンペーン」と題し、プレゼントキャンペーンを実施しています！

【キャンペーン概要】

対象商品

栃木県産コシヒカリ・なすひかり・とちぎの星・あさひの夢など(各商品 5kg・10kg)

栃木県をはじめ全国のスーパー・量販店、ネットで販売されている右記の対象シールが貼付されている商品

応募締切

2023年1月6日(金)まで

応募方法

対象商品に貼付してあるシールをめくり、中面のQRコードを読み込んでいただき、応募フォームにて、ご希望の賞・レシート写真・年齢・郵便番号・住所・電話番号・お買い上げ店名・アンケートをご記入の上、ご応募ください。

賞品

S賞…ダイソン コードレスクリーナー (SV18 FF ENT N)

A賞…とちぎ和牛すき焼き用 400g

B賞…giftee Box 3000円分

(※約500種類のラインナップの中から、好きな商品を選べるギフト！)



シール見本

令和4年産栃木米取扱拡大会議を開催しました

本会米麦部は同日、同場所にて「令和4年産栃木米取扱拡大会議」を開催し、取引先、組合長など各JA関係者、関係機関・団体、業界紙関係など約70名が出席しました。本会議では、全国の情勢報告や令和4年産米の集荷・販売具体策の説明、産地と実需との意見交換などを行いました。

冒頭、主催者として本会運営委員会の菊地会長は「お米の需給改善を図るべく、4年産米においてもグループ一丸となって主食用米からの作付け転換を推進し、深堀をはかることができた。4年産米についても、新たな栃木米アンバサダーの起用を機に、より一層の消費宣伝につとめていく」と挨拶をしました。

産地側として各JAの組合長からは「作付け転換における現場の声」や「令和4年産米の品質概況」などの報告があり、実需側からは「量販店の販売状況」や「業務用米の販売動向」などが報告されました。

JAグループ栃木は、産地一丸となり、美味しいお米の生産・販売に引き続き取り組んでまいります。



食や農業で地域のサポートに取り組めます！

子ども食堂に県産コシヒカリ6トンを贈呈！

JAグループ栃木は8月22日～9月9日までの期間において、栃木県内16か所の子ども食堂へ約6トン(3キロ×2032袋)の精米(県産コシヒカリ)を無償提供しました。

本件の一環として、9月5日には贈呈式を行い、鹿沼市の子ども食堂『森のこびと』へ3キロ×1136袋の精米を贈りました。

本会の古澤副本部長は「米の消費拡大に取り組む中、一番重要なのはこれからの時代を担う子どもたちに栃木のお米の美味しさを知ってもらうことだ。育ちざかりの子どもたちにしっかりごはんを食べていただき、心身ともに元気になってもらいたい」と話しました。『森のこびと』代表の加藤さんは「物価高が続く中、おいしいお米をたっぷりいただけて本当にありがたい。栃木のお米をたくさん食べて、元気に明るい子に育てほしい」と感謝を述べました。



水泳の水沼選手に県産農畜産物を贈呈しました

9月20日、本会営農販売企画部は同日行われた栃木県スポーツ功労賞授賞式に合わせて、水沼尚輝選手(真岡市出身)に県産農畜産物を贈呈しました。本授賞式は水沼選手が第19回水泳世界選手権大会男子100mバタフライにて銀メダルを獲得したことを称えたもの。福田県知事から賞状や記念品が贈呈された後、本会中村副本部長が県産米「とちぎの星」60kg、「とちぎ和牛」1kg、「にっこり梨」5kgを贈りました。



中村副本部長は「この度はおめでとうございます。大嘗祭にも献上されたとちぎの星をとちぎ和牛やにっこり梨と一緒に食べて、今後の体づくりに活かしてください」とエールを送り、水沼選手は「普段から食事のほかに間食としておにぎりを食べるのでお米はとても嬉しい。食べることは好きで、良い食事が良い人間を作ると考えている。まずは来年の世界水泳での自己ベスト更新、金メダル獲得に向けて頑張りたい」と話しました。



学生がトマト苗の接ぎ木作業を体験

本会園芸部は8月22日～9月9日までの期間、本会が運営する園芸種苗総合センターにおいて栃木県農業高等学校の生徒やとちぎ農業未来塾の生徒の受け入れを行いました。学生らは事前に実践練習を含めて準備を行ったうえで、トマト苗の接ぎ木作業体験に取り組みました。接ぎ木とは、耐病性に優れた土台の苗(台木)に別の個体の苗(穂木)を合わせることで、生育障害の発生しづらいトマトの苗を作ることができます。

9月6日には、農業高等学校で施設園芸を学ぶ菅沼未奈さん(20)、酒井遼介さん(19)、小林篤実さん(20)の3名が必死な様子で接ぎ木作業に取り組み、それぞれ「細かい作業で力加減が難しい」「手作業なのでとても大変」「今後就農を考えているので勉強になった」と話しました。



自己改革の 実践 -48-

中古農機に関する取り組み 【コスト削減への挑戦】

近年、米価の下落や生産資材価格の高騰を背景に中古農機の需要が更に高まっています。中古農機は「機械があれば農業を続けられる」という生産者やコスト低減に取り組む生産者のニーズが高まりつつあります。本会は持続可能な農業を支援する取り組みの一環として中古農機の取り扱いに力を注いでいます。

●中古農機専任担当者

専任担当者配置から4年が経過し、県内中古農機取扱高は3億5,000万～4億円程度を維持しており、**配置前に比べ約3割増加**しました。引き続き中古農機の取り扱い拡大を図ります。

- 県内及び関東一円の中古農機販売店を訪問し、情報収集を行っています。
- 収集した情報を「売りたい・買いたい」情報として集約し、県内JAと定期的な情報共有を行い、効率的な対応を進めます。
- トラクター・コンバイン・田植機を始め、ロータリーや畦塗機といった作業機、籾摺り機など幅広い中古農機を取り扱い、組合員のより多くの要望への対応を実現します。

●中古農機査定士

査定士は**県内91名**となりました。(R4年3月末現在)

→各JAの農機センターでは無料査定を行っています。

日本農業機械化協会が実施する検定試験に合格した査定士が、中古農機を査定することにより、適正価格での査定を行っています。

様々な中古農機が登場！「中古農機お買い得市」！！

11月9日(水)、1年に1度の中古農機展示・販売会「中古農機お買い得市」を開催します！5回目の開催となる今回は新型コロナウイルス対策に留意しつつ、50台以上の中古農機を展示します。みなさまのご来場をお待ちしております。



昨年の様子

- 日 時：2022年11月9日(水)
9：00～15：00（受付：14：30まで）
 - 場 所：JA全農とちぎ農業機械総合センター
(宇都宮市上桑島町1459-2)
 - お問い合わせ：JA全農とちぎ 農業機械課
TEL：028-616-8842
(土日祝除く9：00～17：00)
- ※来場を希望される方は事前にお近くのJA農機センターまでご連絡ください。

鹿児島全共に向けて 調教講習会を開催！



9月16日、矢板家畜市場において「第12回全国和牛能力共進会(種牛の部) 出品牛調教講習会」が開催されました。当日は出品者やJA・県関係者ら約70名が参加しました。

今回の鹿児島全共の出品者でもあるJAなすの和牛部会長の清水芳夫さんが講師を務め、計6頭の出品牛について調教講習を行い、半月後に本番を迎える鹿児島全共に向けての最終調整を行いました。

指導を受けた栃木農業高校の生徒らは、「今までみんなで協力して、日々のブラッシングと運動を欠かさず続けてきた。今回初めて気づけたこともあったので、本番に向けて日々の管理・調教に取り組みたい」と話しました。



豊水梨目揃え会を開催しました



本会園芸部は8月25日、「令和4年産とちぎ豊水梨統一目揃え会」を開催しました。新型コロナウイルス感染の再拡大を受けて、規模を縮小しての開催となりましたが、当日は各JAの担当者や市場関係者、本会職員ら約20名が出席し、出荷規格・申し合わせ事項の確認やカラーチャートを用いた現物目揃えを行いました。

市場関係者からは今年産豊水梨の販売情勢についての報告があり、「見通しが立ちにくい中だが、高精度な産地情報の提供と高品質な梨の出荷を徹底していただきたい」と要望があり、園芸部の荒井部長は「これからの時期は台風の影響も懸念され、コロナ禍による販促活動の制限が続く中だが、栃木の梨の売り場確保に最大限努めていく」と話しました。



にっこり梨目揃え会を開催しました



本会園芸部は9月22日、「令和4年産とちぎにっこり梨統一目揃え会」を開催し、各JA担当者、市場関係者ら約30名が参加しました。

目揃え会では、出荷規格表および出荷時の申し合わせ事項の確認のほか、カラーチャートを参考にした現物目揃えを行いました。

園芸部の黒崎次長は「現状はやや小玉傾向にあるが、今後は例年並みに回復することが予想される。重点市場を中心に、産地のご協力のもとしっかり販売していく」と挨拶しました。

市場関係者からは「各産地には密に情報提供を行っていただき、計画的な出荷をお願いしたい」といった要望がありました。今年度のにっこり梨は11月中旬頃まで出荷される予定です。



JAうつのみやとの農機事業一体運営が始まりました



生産資材部は9月1日、本会とJAうつのみやの農機事業一体運営拠点として開設した「うつのみや広域農機センター」の開所式を執り行い、当日は本会池田県本部長やJAうつのみやの佐藤代表理事専務など、関係者ら約40名が出席し、テープカットなどで開所を祝いました。

今回で県内6例目となる農機事業の“一体運営”は、JAと本会が所有する経営資源の効率的な活用や重複機能の排除等を通じて、組合員へのサービス向上・事業競争力の強化・経営収支の改善を図ります。

JAうつのみやの佐藤専務は、「農業を取り巻く環境は依然として不透明だが、組合員・利用者の期待と信頼に応えられる農機センターとなることを期待している」と挨拶し、池田県本部長は「農機センターも選ばれる時代となった。地域NO.1の農機センターとして地域に認められるような農機センターを目指していきたい」と意気込みました。



地域インフラの拠点に JAエルサポート県東支店・石油配送センターが竣工！



(株)JAエルサポートは9月7日、真岡市内で「県東支店・石油配送センター」の竣工式を執り行いました。式には地権者やJAのはが野、本会の関係者ら16名が出席し、テープカットなどを行い、完成を祝いました。本施設は灯油・軽油・重油それぞれ200klの屋外タンクを計3基備えており、従来の施設と比較して、積み込みスピードも向上していることから、配送効率向上にも繋がっています。地域のインフラを支え、組合員・利用者の負託に応える拠点を目指します。

施主代表として菊地会長は「今回の竣工式をひとつの節目として、社員一同、管内の組合員・利用者身近で頼りにされるよう、地域に根付いた拠点運営を行っていく」と挨拶しました。



新総合物流センター起工式を行いました



本会は9月5日、新総合物流センター建設工事の起工式を執り行いました。当日は本会職員のほか、(株)JAグリーンとちぎ、建設会社の関係者ら18名が出席しました。現在の総合物流センターは平成16年11月から稼働し、本会の物流事業を支えてきました。新施設は現施設と比較し、敷地面積は約2倍、施設面積は約1.25倍に拡充する予定で、収容能力もアップします。

施主として本会運営委員会の菊地会長は「新センターは農家組合員に、より一層のサービスを提供できると確信している。コロナの影響も厳しい中だが、施設が安全に建つことを祈る」と挨拶をし、今以上に安全で、収容力の高い物流センターとなるよう期待を込めました。



お知らせ

下野新聞で連載はじめました！

この度、下野新聞にてJAグループ栃木の取り組みや県産の農畜産物についてご紹介する連載を始めました！

2022年9月～2023年3月の期間で各部門が交代で担当し、合計10回の掲載を行います。JAタウンからのプレゼント情報や本会SNSの活動情報なども発信していきます。

今月は21日(金)の掲載ですので、当日はぜひ、3面下段をチェックしてみてください🐾

産地直送お取り寄せサイト
JAタウン「とちぎ新鮮倉庫」のご紹介!!

【期間限定】割引クーポン配布中!

先着100名様限定! 9月9日(本日)～9月29日(木)まで!

今だけ全商品が対象! 1会計につき1,000円引き!!

クーポンコード「L1G1-LQHK-MO1Y」をご注文の際に入力してください!

JAタウンからのプレゼント

栃木県産 梨

7月から11月まで旬な品種を味わえます!

5名様

【応募方法】はがき、またはおのQRコードから応募ください。郵便番号、住所、氏名、年齢、性別、電話番号、梨園の感想などを記入して応募。9月29日抽選会で発表。応募は一人様1回。

抽選券の応募フォームより

※応募いただいた個人情報は、当選発表、発表後、当選発表後、抽選結果を公表する目的で利用させていただきます。抽選結果を公表しない場合は、抽選結果を公表しないものとさせていただきます。(7月抽選結果発表)

産地直送お取り寄せサイト
JAタウン「とちぎ新鮮倉庫」

新鮮な「産地とちぎ」の農畜産物をお届けします!

とちぎ新鮮倉庫

インターネット通販サイト!

産地直送だから新鮮!
自宅に届くから便利!
手続ことのりがおそろい!
贈り物にもおすすめです。

10月上旬から新鮮な産物が届きます!

旬の新鮮な産物をお届けします!

お家で食べるのに最適な新鮮な産物をお届けします!

季節を問わずに旬な産物をお届けします!

冬を代表するいちごなどの果物をお届けします!

栃木の産物にこだわったお取り寄せサービスです。

実は暮らしに身近なJAグループの取り組みをご紹介します。

JAグループ栃木 / JA全農とちぎ

次回は9月30日掲載

JAグループ栃木、JA全農とちぎはSDGsが掲げる持続可能な社会に貢献しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

下野新聞 9月9日掲載紙面

合わせて上記の期間、本会Instagram“リール動画”での発信を強化します! 職員も出演し、皆様楽しんでいただける短い動画を多く配信していきますので、ぜひInstagramもチェックしてみてください🐾

ぶりと秋野菜の黒こしょう炒め

(アドバイス表2021年10月あじわいコースP29)



【材料】(2人分)

ぶり切り身	2切 (200g)
れんこん (半月切り)	150g
まいたけ (ほくす)	100g
にんにく (みじん切り)	1片
オリーブ油	適量
酒	大さじ2
塩	小さじ1/4
黒こしょう	適量

■作り方■

- 1 ぶりは食べやすい大きさに切る。
- 2 フライパンにオリーブ油とにんにくを弱火で熱し、香りがしたら①を並べて入れ、空いている隙間にれんこんとまいたけを入れて弱めの中火で両面に焼き色を付け火を通す。
- 3 ②を加えて味付けをし、器に盛り付ける。



栃木推進課 管理栄養士
高橋雲世さん

れんこんに含まれているビタミンCやカリウム、タンニンなどは水溶性のため、水にさらす時間は5分以内にとすると効果的に栄養素を摂取できます。

ポイント!!

ふれあい食材についてはこちらから!



子牛市場情報

令和4年度9月矢板家畜市場成績書



	性別	上場頭数	成立頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重(日令)	単価(kg)	前回比
1日	雌	153	151	1,184,700	287,100	580,617	285(289)	2,032	18,278
	雄	2	2	546,700	446,600	496,650	322(295)	1,542	—
	去勢	208	206	1,193,500	348,700	756,714	319(285)	2,365	−297
	合計	363	359	1,193,500	287,100	681,197	305(287)	2,229	15,384
2日	雌	180	178	1,017,500	257,400	608,145	281(288)	2,162	16,866
	雄	1	1	495,000	495,000	495,000	346(325)	—	—
	去勢	196	195	1,131,900	379,500	741,851	319(286)	2,319	−37,759
	合計	377	374	1,131,900	257,400	677,555	301(287)	2,246	−13,956
9月期合計	雌	333	329	1,184,700	257,400	595,511	283(288)	2,102	18,209
	雄	3	3	546,700	446,600	496,100	330(305)	1,503	—
	去勢	404	401	1,193,500	348,700	749,486	319(286)	2,342	−19,225
	合計	740	733	1,193,500	257,400	679,339	303(287)	2,238	230
概況	9月の矢板家畜市場は、740頭上場にて733頭が成立し、前年同月比46頭増となりました。平均価格は対前月比雌18,209円高、去勢19,225円安となりました。 市場相場は保合で推移し、8月期全国市場平均価格よりも高い価格での取引となりました。 購買者数 1日目：146人 2日目：152人								

○次回開催/2022年10月12日～13日 出場予定:各350頭(2022年11月の開催は、1日・2日です。)

JA全農とちぎ



とちぎ新鮮倉庫からのお知らせ

季節商品のご紹介 にっこり梨



食べてにっこり♪にっこり梨の販売がスタートいたします！大きさもちろんながら、繊細な甘さにもびっくりすると思います♪

じっくり樹上で育ったジューシーなおいしさを是非、味わってみてください！

他にも厳選した『とちぎの味』を取り揃えております♪



とちぎ新鮮倉庫

10月の行事

- 5日(水) RADIO BERRY(17:15～)
- 6日(木) 第12回全国和牛能力共進会 鹿児島大会 畜産部
- 7日(金) CRT栃木放送(7:33～)
- 11日(火) 県本部運営委員会
- 12日(水) 矢板子牛市場 RADIO BERRY(17:15～)
- 13日(木) 矢板子牛市場
- 14日(金) 第46回とちぎ和牛枝肉共励会・第46回JAグループ栃木交雑種枝肉共励会 畜産部
- 19日(水) RADIO BERRY(17:15～)
- 26日(水) RADIO BERRY(17:15～)

編集後記

10月です。とっても過ごしやすい天気になりましたね。気温もちょうどよく、ハロウィンが好きなので、秋は私の一番好きな季節です。秋の食べ物もおいしくて、新米・さつまいも・栗・かぼちゃ・梨は大好物です。今年も秋の味覚を思う存分楽しみたいと思います(^^)

今年度も後半戦に突入です！改めて気を引き締めて頑張ります！ (ミウ)

栃木うま〜

「おいしさ」が
自慢の

栃木米

美味すぎん
コメんね
米んね〜

なすひかり
とちほのか
とちぎの星

栃木米アンバサダー
U字工事

JAグループ栃木 / JA全農とちぎ

だ
ち
つ
や
と
ち
ぎ

©栃木県 とちまろく

栃木米の情報はこちら!
<https://www.tochigimai.jp/>



この印刷物は環境にやさしい植物油
インクと再生紙を使用しています。



私たち全農グループは、生産者と消費者を
安心で結ぶ懸け橋 になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。